

埼玉大学図書館蔵「ファーブル・コレクション」の基礎的研究

Fundamental study on the Fabre Collection of the Saitama University Library

プロジェクト代表者名：時田 澄男（理工学研究科教授、図書館長）

Sumio Tokita (Professor, Graduate School of
Science and Engineering, University Librarian)

プロジェクト担当者名：奥本 大三郎（教養学部教授）

西原 英人（教養学部非常勤講師）

気谷 誠（研究協力部図書情報課長 17 年度）

1. 経過

平成16年度に購入した図書館の貴重資料ファーブル・コレクションの意義を検証し、広く活用を図るため、同コレクションに含まれるファーブル自筆草稿（初出資料）を調査し、主要部分を活字に翻刻することを今年度の目的とした。上記の目的に沿って、ファーブル・コレクションに含まれる草稿のなかから、特に貴重とされるフランス学士院実験生理学賞（モンティオン賞）受賞論文草稿《Sur le *Cerceris Dufouriana*》（「デュフルツチスガリについて」）を翻刻対象として選定した。

2. 分担

ファーブル自筆草稿の調査については時田・奥本・気谷が担当し、モンティオン賞受賞論文草稿《Sur le *Cerceris Dufouriana*》（「デュフリアーナ・ツチスガリについて」）の翻刻については西原が担当した。

3. 成果

今回翻刻したノート草稿「デュフルツチスガリについて」では、削除訂正加筆を経たノートの文面は、最終的に雑誌掲載された「ツチスガリの生態についての考察」と比べても内容の変更が殆どないことが確認できた。つまり、24年の時を隔てて『昆虫記』第一巻第三章、第四章、第五章で敷衍されることになる雑誌論文とこのノート原稿の全体的内容はほぼ同一である。

ただし、全体的内容に関してはノート草稿と出版稿では殆ど相違が無いとはいえ、細かな言葉遣いや表現をはじめ相違点はいくつもある。ノート草稿が資料として貴重となるのは、そうした出版稿との相違点、およびノート中の削除された部分などから思考と文章の生成過程が検証できる点にあり、今後さらに調査等を深める必要がある。

翻刻した自筆草稿については、その概要、書誌学的考察を付して小冊子にまとめた。

Sur le *Cerceris Dufouriana* / par J.-H. Fabre = デュフルツチスガリについて / ジャン＝アンリ・ファーブル : 埼玉大学総合研究機構研究プロジェクト「ファーブル・コレクションの基礎的研究」共同研究チーム編 31 p. 2006 年

<目次>

ジャン=アンリ・ファブールの肉筆原稿について (Sur les texts

manuscripts de l'entomologiste Jean-Henri Fabre)

奥本大三郎 4

J.-H.ファブール自筆草稿 « Sur le *Cerceris Dufouriana* » について

西原 英人 6

Sur le *Cerceris Dufouriana*

J.-H. Fabre 14



フランス学士院実験生理学賞（モンティヨン賞）受賞論文草稿原本